

「令和2年度朝日自然塾」(R2. 7. 23)

フロが教えるイワナ釣り

令和2年度朝日自然塾(※)が7月23日(木・祝)に、鶴岡市大鳥の東大鳥川とタキタロウ館にて、朝日自然塾連絡協議会の山形県溪流釣り協議会・鶴岡市朝日庁舎、庄内森林管理署の協力を得て開催されました。当日はときおり雨に降られる、あいにくの天気でしたが、親子を中心に9組24人、元気いっぱいの参加をいただきました。

タキタロウ館前の開会式で、全体の注意事項を聞いた後、参加者は4班に分かれ、早速、講師・スタッフの指導のもと、東大鳥川で溪流釣りにチャレンジしました。



小雨の中、溪流釣りにチャレンジ



お父さんと一緒に魚釣り

溪流釣り体験の次は釣り堀で、イワナやニジマス釣りに挑戦、竿にかかる魚の引きの強さにビックリしたり、講師に教えてもらって釣った魚を自分たちでさばいたり、会場に歓声が響き渡りました。

お昼には、スタッフが朝から火を起こした炭火でじっくりと焼いたイワナの串焼きにかぶりつき。

午後は、のべ竿を使った的落としゲーム、フライフィッシングのキャスティング体験や、毛針作りなどを思い思いに体験し、さらにはイワナの不思議な生態や、イワナと森林との意外で深い関係を教わり、みんなで「へ～」と驚いたりりと、雨空を吹き飛ばす、元気いっぱいの一日を楽しみました。



しっかりの的を狙って、エイッ！

(※)朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。



イワナの炭火焼き、いただきま〜す

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター